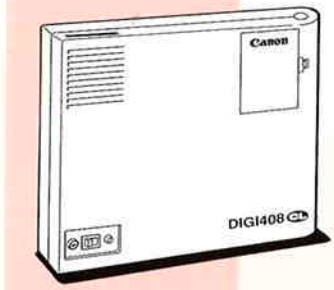
Canon

CANON DIGITALPHONE SYSTEM

DIGI 408 CL

専用電話機 操作説明書

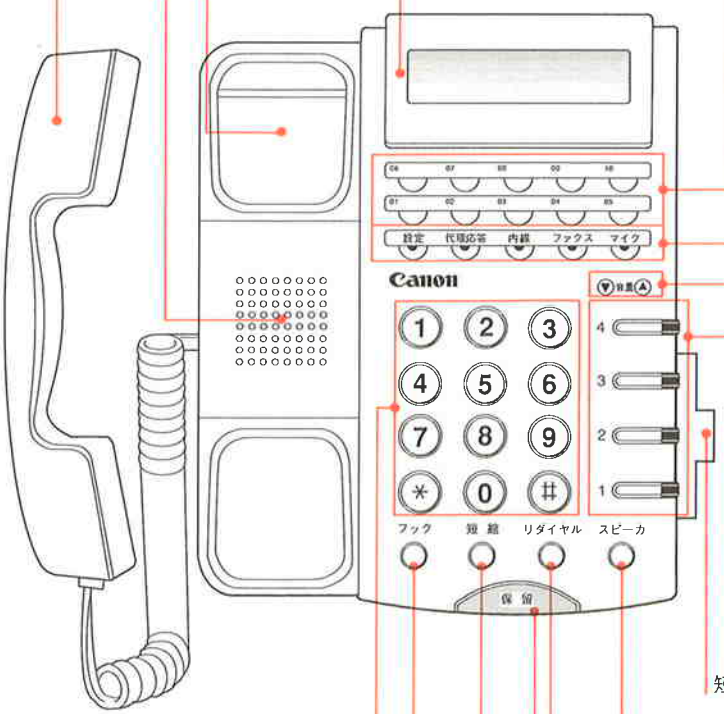


詳しい説明は主装置に付属の
使用説明書をご覧ください。

TELEPHONES

このたびは《キヤノン・デジタルホン・システムDIGI 408CL用　専用電話機》をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本機を正しくご使用いただくために、この操作説明書をよくお読みいただきますよう、お願い申し上げます。
なお、詳しい説明は《キヤノン・デジタルホン・システムDIGI 408CL》主装置に付属の使用説明書をご覧ください。

各部の名称とはたらき



ディスプレイ

カナ、英数字16文字×2行の表示を行います。
漢字表示用の電話機では漢字10文字×2行です。
また、角度が調節できます（⇨P.41）。

通常の表示例

```
8/10 TUE   9:00
            内11
```

漢字表示用の場合の通常の表示例

```
8月10日（火）  9:00
            内11
```

外線で通話中のとき

```
37582111
#01   3348 2121
```

料金を表示しているとき

```
 0'10"      10円
#01   3348 2121
```

スピーカ

スピーカ受話のときに相手の声が聞こえます。
また、警告音なども聞こえます。

受話器

フックスイッチ

電話を切るときに使用します。

ワンタッチボタン

このボタンを押すだけでダイヤルすることができます（⇨P.6）。また、プログラマブルキーとして機能や一連の操作を登録することもできます（⇨P.24）。

機能ボタン（ランプ付）

任意の機能が設定できます（⇨P.29）。
標準で以下の機能ボタンが設定されています。

- 設定ボタン……各種機能を登録・設定するときに使用します（⇨P.29）。
- 代理応答ボタン…他の電話機にかかってきた内線電話を受けるときに使用します（⇨P.12）。
- 内線ボタン……内線へ電話をかけるときに使用します（⇨P.10）。
- ファクスボタン…ファクスへの転送を行うときに使用します（⇨P.17）。
- マイクボタン……ハンズフリー応答・通話などに使用します（⇨P.11）。

音量ボタン

受話音量、着信音量、スピーカ音量などの音量やディスプレイの濃さを調節するとき（⇨P.21, 25）およびカーソルの移動（⇨P.18）に使用します。

外線ボタン（ランプ付）

外線と通話するときに使用します。また、機能ボタンやワンタッチボタンとして使用することもできます（⇨P.29）。

- 緑色・点灯……自分が使用中
- 緑色・点滅……自分が保留中
- 赤色・点灯……他人が使用中
- 赤色・点滅……他人が保留中
- 赤色・速い点滅…着信中

外線ボタンに機能が設定されている場合は、その機能が使用中のときに赤色に点灯します。

短縮シート（⇨P.40）

スピーカボタン（ランプ付）

相手の声をスピーカで聞くときに使用します。ランプは［外線］ボタン、［内線］ボタン、［代理応答］ボタン、および内線保留中の［保留］ボタンを押したときも自動的に点灯し、スピーカ受話となります。

ダイヤルボタン

フックボタン

ダイヤルを間違えたときや機能の取消し操作で使用します。また、キャッチホンなどの電話サービスの応答にも使用します（⇨P.23）。

リダイヤルボタン

同じ相手にかけなおすときに使用します（⇨P.9）。

短縮ボタン

短縮ダイヤルで電話をかけるときに使用します（⇨P.6）。

保留ボタン（ランプ付）

通話を一時保留するときに使用します（⇨P.15）。
保留中は保留ランプが点灯します。

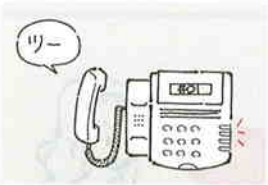
あなたの電話機はどのタイプ？

電話機には外線用と内線用の２つのタイプがあります。受話器をとって電話をかける場合は、タイプによって電話のかけかたが異なりますので、まず、自分の電話機がどちらのタイプか受話器をとって確かめてください。２つのタイプは受話器をとったときの音や表示で見分けることができます。

外線用の電話機

外線用の電話機とは、受話器をとったとき外線につながるように設定されている電話機です。

ディスプレイ付き



ディスプレイなし

- 受話器をとると「ツー」という音が聞こえ、外線 ボタンのランプが緑色に点灯します。また、ディスプレイ付きの場合は 外線 ボタンの番号や外線番号が表示されます。

内線用の電話機

内線用の電話機とは、受話器をとったとき内線につながるように設定されている電話機です。

ディスプレイ付き

ディスプレイなし

- 受話器をとると「ツーツーツー」という音が聞こえ、内線 ボタンのランプが点灯します。また、ディスプレイ付きの場合は「内」が表示されます。

外線発信状態と内線発信状態

- 受話器をとったとき「ツー」という音は外線にかけられる状態（外線発信状態）、「ツーツーツー」という音は内線にかけられる状態（内線発信状態）であることを意味します。
- 外線発信状態から内線にかける場合は 内線 ボタンを押して「ツー」から「ツーツーツー」にします。内線発信状態から外線にかける場合は０発信、またはランプが消えている 外線 ボタンを押して「ツーツーツー」から「ツー」にします。

専用電話機の種類

専用電話機には、ディスプレイのない標準電話機（Ａタイプ）、ディスプレイ付き標準電話機（Ｂタイプ）、停電用電話機（Ｄタイプ）、および漢字表示用電話機（Ｋタイプ）の４種類があります。
この操作説明書では、標準装備のディスプレイ付き標準電話機を中心に説明しています。

もくじ

外線にかける

ダイヤルしてかける（外線発信）……5
ワンタッチでかける（ワンタッチオートダイヤル）……6
短縮でかける（短縮ダイヤル）……6
同じ相手にかけなおす（リダイヤル）……9
ダイヤラを使ってかける（オートダイヤラ発信）……34
通話中に番号を記憶させ、あとでかける
（メモダイヤル）……35
電話帳メモリカードを使ってかける（電子電話帳）*……36

内線にかける

ダイヤルしてかける（内線発信）……10
代表番号でかける（内線代表）……10
受話器をとるだけでかかる
（内線ダイレクトコール）……10
ワンタッチで内線にかける（内線呼出）……39

話し中・応答がない

自動的にリダイヤルを繰返す
（オートリピートダイヤル）……13
近くの内線にかけなおす（内線ステップコール）……13
スピーカから呼びかける（内線音声呼出）……13
通話中の内線を呼出す（話中呼出）……14
グループごとに音声で呼びかける（グループ一斉呼出）…33
外線が空いていないので予約する（外線予約）……33
内線が話し中なので予約する（内線予約）……34
電話を待っていることを相手に伝える
（メッセージウェイト）……35

電話を受ける

自分の電話機が鳴っている（応　答）……11
受話器をとらずに応答する（ハンズフリー応答）……11
外線ボタンが赤色で速く点滅している
（任意外線応答）……12
近くで電話が鳴っている（内線代理応答）……12

相手と通話

保留・転送する

通話中の相手を保留する（保　留）……15
保留番号で外線を保留する（パーク保留）……15
近くの内線に声をかけて転送する（簡易転送）……16
離れている内線に転送する（保留転送）……16
通話中の外線を別の外線へ転送する（外線転送）……17
ファクスへ転送する（ファクス転送）……17
自分の電話機だけで保留する（外線自己保留）……31

不在にする

着信を一時的に拒否する（不在設定）……30
行先の内線へ転送させる（不在転送）……31

＊はオプション機能です。

その他の便利な機能

略称を入力する（略称の入力）……18
手元の電話機を自分の電話機の設定で使う（スーパーユーザ）……21
音量を調節する（音量調節）……21
外線ボタンの割付けを変更する（外線ボタン割付）……22
マスター電話機をさがす（マスターコール）……22
トーン信号で各種の電話サービスを受ける（PB信号送出）……23
NTTのキャッチホンサービスに応答する（フッキング送出）……23
日時を合わす（時計表示）……23
メモした電話番号をそのまま登録する（セーブダイヤル）……24
ワンタッチボタンに機能や操作を登録する（プログラマブルキー）……24
内線の名称を表示する（内線名称表示）……25
ディスプレイの濃さを調節する（LCD表示濃度調節）……25
自分の電話機の内線番号やテナント番号を確認する（自己情報表示）……25
自分の電話機の集計料金を表示する（自己通話料金表示）……26
電話機の集計料金を表示する（料金集計表示）……26
電話機ごとに通話予算を設定する（予算管理発信規制）……27
ボタンを押すと音が鳴る（キーイントーン）……27
ヘッドセットで通話する（ヘッドセット通話）*……28
着信モードを一時的に切替える（着信モード個別切替）……28

*はオプション機能です。

機能を設定して使う

機能ボタンを設定する（フレキシブルキーアサイン）…29

時報やアラームを鳴らす（アラーム）……30

着信を一時的に拒否する（不在設定）……30
行先の内線へ転送させる（不在転送）……31

自分の電話機だけで保留する（外線自己保留）……31

ドアホンに応答する（ドアホン）*……32

3人で同時に通話する（会議通話）……32
口頭で相手の方から通話に参加させる（秘話解除）……32

グループごとに音声で呼びかける（グループ一斉呼出）……33

外線が空いていないので予約する（外線予約）……33
内線が話し中なので予約する（内線予約）…33

外部スピーカを使って放送する（構内放送）*……34

ダイヤラを使ってかける（オートダイヤラ発信）……34

通話中に番号を記憶させ、あとでかける（メモダイヤル）……35

電話を待っていることを相手に伝える（メッセージウェイト）……35

電話帳メモリカードを使ってかける（電子電話帳）*……36

電話を切る操作を省略する（フラッシュ機能）……37

夜間／休日用に着信モードを切替える（夜間／休日切替）……38

サービスクラスを切替える（夜間発信）……38

LCRからNTT回線に切替える（LCRオフ）*……39

ワンタッチで内線にかける（内線呼出）……39

*はオプション機能です。

こんなときには

短縮シートの取付けかた……40
ワンタッチシート・ファンクションシートの取外しかた……40
壁かけ用アクセサリーの取付けかた……40
電話機の角度を調節する……41
ディスプレイの角度を調節する……41
停電のとき……42
エラーメッセージ……43
故障かなと思ったら……45
一般電話機で使える機能……46

外線発信

ダイヤルしてかける

受話器をとって外線にかける場合は、「ツー」という発信音が聞こえる外線発信状態（⇨P.2）でダイヤルしてください。

- すべての 外線 ボタンが点灯しているときは、いずれかのランプが消えるまで待つか、外線を予約（⇨P.33）することもできます。
- データ設定されていれば、外線と通話後、受話器をもどさなくても空いている 外線 ボタンを押すことで続けて発信できます。また、着信している場合は応答できます（外線乗り換え）。

受話器を置いたままダイヤルする

受話器を置いたまま → 外線（消灯している）☞1 → 外線番号 ☞2 ・・・ 相手が出たら ☞3

受話器をとってダイヤルする

→ 外線番号 ☞2 ・・・ 相手が出たら話す

→ 0 または 外線（消灯している） → → 外線番号 ☞2 ・・・ 相手が出たら話す

☞1 電話機が外線用（⇨P.2）に設定されている場合は、外線 ボタンの代わりに スピーカ ボタンを押すと、自動的に空いている外線を選んでくれます。また、クイック発信が設定されている場合は、ダイヤルボタンの 0 を押すと、電話機が空いている外線を選んでくれます。
クイック発信とは、受話器を置いたまま リダイヤル 、メモダイヤル 、ワンタッチ ボタンを押すだけで発信できる、または0発信できる機能です。

☞2 間違えてダイヤルしたときは、フック ボタンを押してダイヤルしなおしてください。

☞3 相手が出る前に電話を切りたいときは スピーカ ボタンを押してください。

プリセット発信でかける ☞1

受話器を置いたまま → 外線番号 → 外線（消灯している）☞2 ・・・ 相手が出たら

☞1 プリセット発信は 外線 ボタンを押す前にダイヤルします。データ設定が必要です。この機能を設定すると、システム内のすべての電話機がプリセット発信になります。プリセット発信が設定されていても 外線 ボタンを押してからダイヤルするまたは受話器をとってダイヤルすることもできます。

☞2 ダイヤルしてから10秒以内に押してください。外線 ボタンの代わりに スピーカ ボタンを押すこともできます。

ワンタッチオートダイヤル　ワンタッチでかける

頻繁にかける電話番号はワンタッチボタンに登録しておけば、このボタンを押すだけでダイヤルできます。登録のしかたは７ページをご覧ください。

クイック発信（⇨P.5）が設定されているときは、受話器を置いたままで［ワンタッチ］ボタンを押すと発信できます。

受話器を置いたままワンタッチでかける

（受話器を置いたまま）→ 消灯している［外線］→［ワンタッチ］・・・相手が出たら ☞

受話器をとってからワンタッチでかける

ツー → ［ワンタッチ］・・・相手が出たら話す

ツー ツー ツー → ［0］または 消灯している［外線］→ ツー →［ワンタッチ］・・・相手が出たら話す

☞ 相手が出る前に電話を切りたいときは［スピーカ］ボタンを押してください。

短縮ダイヤル　短縮でかける

短縮番号は00～99の２桁の番号です。00～89は、すべての電話機で共通して使えるシステム短縮ダイヤルです。90～99は電話機ごとに登録して使える電話機別短縮ダイヤルです。登録のしかたは８ページをご覧ください。

受話器を置いたまま短縮でかける

（受話器を置いたまま）→ 消灯している［外線］→［短縮］→（短縮番号）・・・相手が出たら ☞1

受話器をとってから短縮でかける

ツー → ［短縮］→（短縮番号）・・・相手が出たら話す

ツー ツー ツー → ［0］または 消灯している［外線］→ ツー →［短縮］→（短縮番号）・・・相手が出たら話す

短縮検索発信

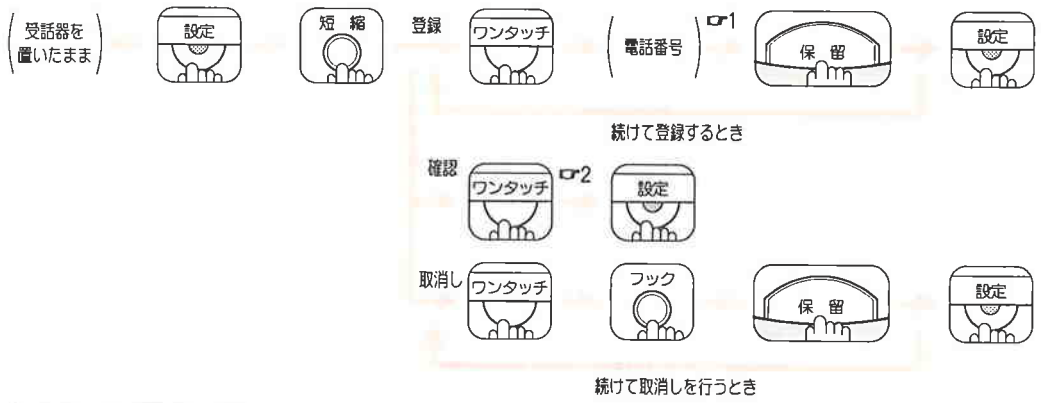
（受話器を置いたまま）→［短縮］→［▼音量▲］→［短縮］☞2 ・・・相手が出たら ☞1

☞1　相手が出る前に電話を切りたいときは［スピーカ］ボタンを押してください。

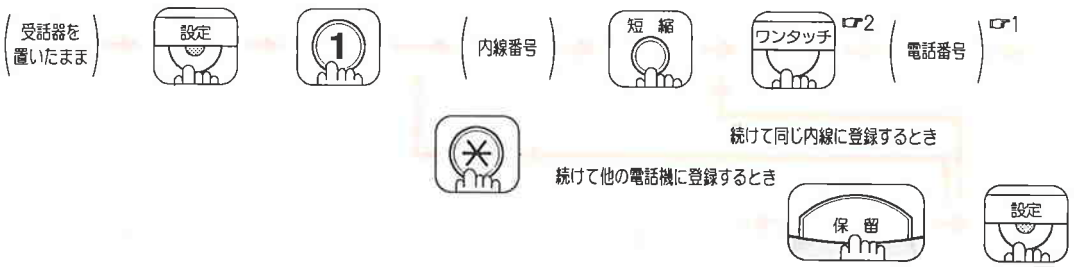
☞2　目的の短縮番号を表示させてから10秒以内に押してください。

ワンタッチオートダイヤルの登録・確認・取消し

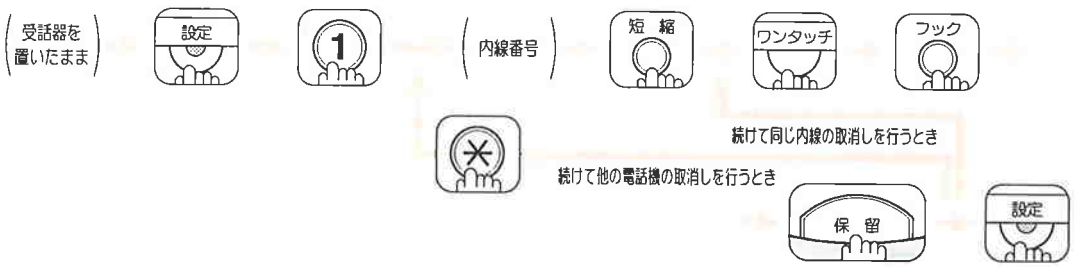
● 登録または取消しを途中で中止したいときは、受話器を上げるか 設定 ボタンを押してください。保留 ボタンを押す前であればいつでも中止できます。



マスター電話機で登録・確認する



マスター電話機で取消す

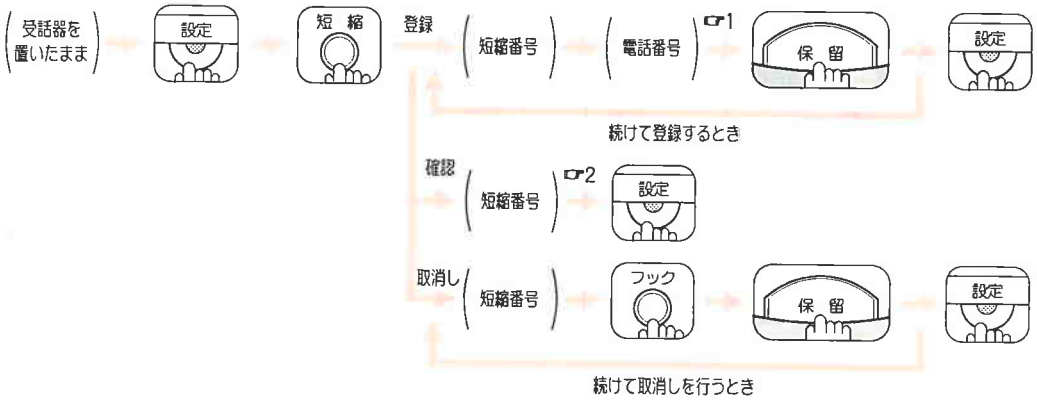


☞1 間違って入力したときは、▼/▲ ボタンを押して訂正したい桁にカーソルを移動させて入力しなおしてください。略称を入力したいときは、電話番号を入力したあと、リダイヤル ボタンを押してください（⇨P.18）。

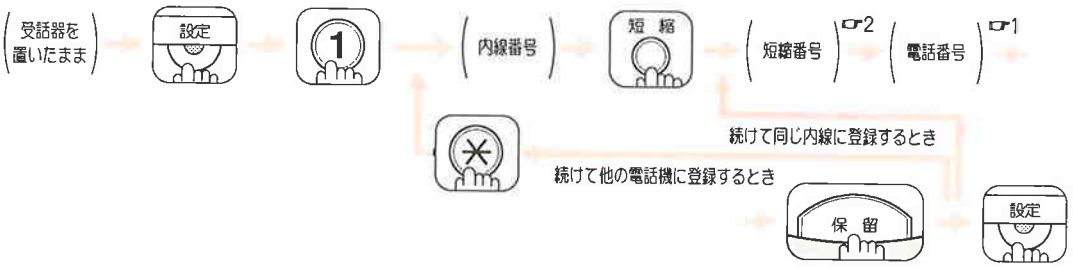
☞2 ここで他の ワンタッチ ボタンを押すと、続けて確認できます。

短縮ダイヤルの登録・確認・取消し

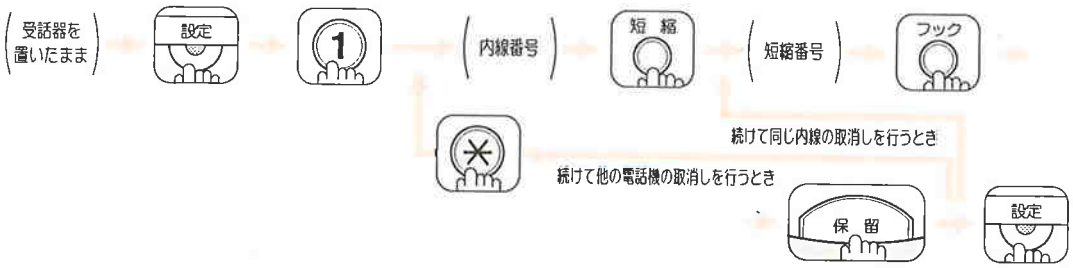
- 短縮ダイヤルは2桁（00～99）の番号で登録します。90～99は電話機ごとに登録できる電話機別短縮ダイヤルです。00～89は全電話機共通のシステム短縮ダイヤルで、マスター電話機から登録します。
- 登録または取消しを途中で中止したいときは、受話器を上げるか 設定 ボタンを押してください。保留 ボタンを押す前であればいつでも中止できます。



マスター電話機で登録・確認する



マスター電話機で取消す



☞1 間違って入力したときは、▼/▲ ボタンを押して訂正したい桁にカーソルを移動させて入力しなおしてください。略称を入力したいときは、電話番号を入力したあと、リダイヤル ボタンを押してください（⇨P.18）。

☞2 ここで他の短縮番号を入力すると、続けて確認できます。

リダイヤル

同じ相手にかけなおす

最後にダイヤルした外線番号は自動的に記憶されます。ワンタッチオートダイヤル、短縮ダイヤルでかけた電話番号もリダイヤルでかけなおすことができます。

●クイック発信（⇨P.5）が設定されているときは、受話器を置いたまま［リダイヤル］ボタンを押すだけで発信できます。

受話器を置いたまま リダイヤルする

受話器を置いたまま → リダイヤル ☞1 → リダイヤル または 外線（消灯している） ☞2 ・・・相手が出たら

受話器をとって リダイヤルする

ツー → リダイヤル ・・・相手が出たら話す

ツーツー → 0 または 外線（消灯している） → リダイヤル ・・・相手が出たら話す

☞1　リダイヤルする番号が表示されます。番号を表示しているときに着信音が鳴った場合は、［フック］ボタンを押してから受話器をとると応答できます。
☞2　表示してから10秒以内に押してください。

リダイヤルの番号を消去する

受話器を置いたまま → フック → リダイヤル

内線発信

ダイヤルしてかける

受話器をとって内線にかける場合は、「ツーツーツー」という発信音が聞こえる内線発信状態（⇨P.2）でダイヤルしてください。

受話器を置いたままダイヤルする

受話器を置いたまま → 内線 → 内線番号 ☞1 ・・・ 相手が出たら ☞2

受話器をとってダイヤルする

ツーツー → 内線番号 ☞1 ・・・ 相手が出たら話す

ツー → 内線 → ツーツーツー → 内線番号 ☞1 ・・・ 相手が出たら話す

☞1　間違えてダイヤルしたときは、フック ボタンを押してダイヤルしなおしてください。
☞2　相手が出る前に電話を切るときは スピーカ ボタンを押してください。

内線代表

代表番号でかける

例えば、内線11番が話し中であれば、一度電話を切り 1 ＊ を押すと10番台の空いている内線を呼出します。

受話器を置いたまま → 内線 → 内線番号の頭1桁 → ＊ ・・・ 相手がでたら

内線ダイレクトコール

受話器をとるだけでかかる　データ設定

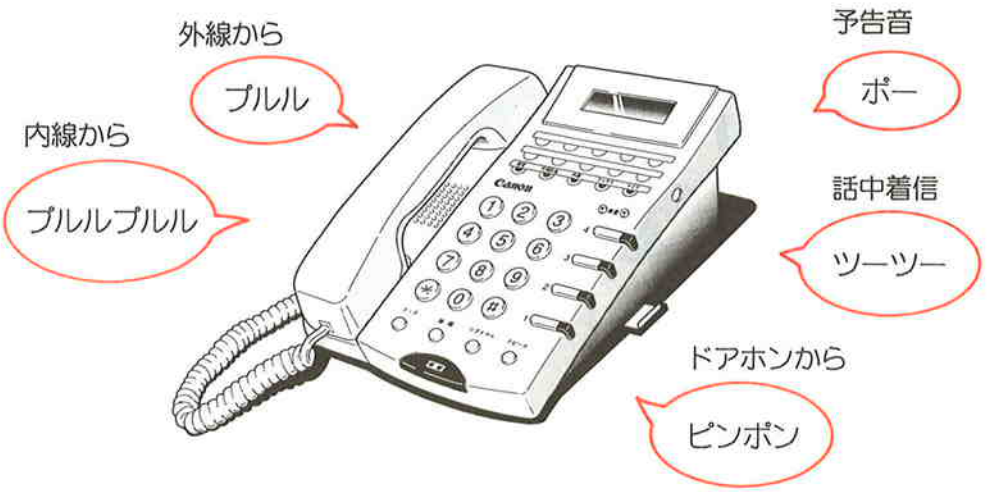
内線番号をダイヤルしなくても受話器をとるだけであらかじめ決められた内線を呼出すことができます。ただし、データ設定が必要です。

● この機能が設定されている電話機で他の内線にかけるときは受話器をとる前に 内線 ボタンを押してください。また、外線にかけるときは受話器をとる前にランプの消えている 外線 ボタンを押してください。

応　　答

自分の電話機が鳴っている

自分の電話機で着信音が鳴っているときは、外線、内線に関係なく特別な操作は必要ありません。そのまま受話器をとってお話しください。着信音の鳴りかたで内線からの電話か外線からの電話かなどがわかります。



●受話器をとって相手と話しているときで、外線からの着信があるとスピーカから着信音が聞こえるようにすることができます。ただし、データ設定が必要です。

ハンズフリー応答

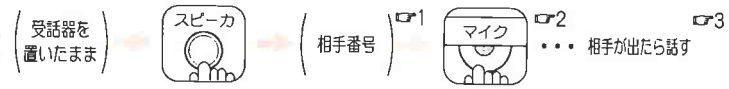
受話器をとらずに応答する

マイク ボタンのランプを点灯させておけば、音声呼出しを受けたとき受話器をとらずに応答できます。

- 一般電話機からの音声呼出しにはハンズフリー応答はできません。また、相手内線が マイク ボタンを押して電話をかけてきた場合も、ハンズフリー応答はできません。
- ディスプレイのない専用電話機には マイク ボタンはありません。
- オプションのハンズフリーカードを取付けると、お互いにハンズフリーで通話ができます。

☞ ハンズフリー応答の状態から受話器をとると、受話器を使った通常の通話に切替えることができます。また、受話器を持った通話からハンズフリー応答に切替える場合は、スピーカ ボタンを押してから受話器を置き、マイク ボタンを押してランプを点灯させます。
ハンズフリー応答中に マイク ボタンを押してランプを消灯させると、自分の声が相手に聞こえなくなります。

ハンズフリーで通話する



オプション

☞1　ハンズフリーで外線に発信するときは、オプションのハンズフリーカードが必要です。
外線にかけるときは外線発信状態で、また内線にかけるときは内線発信状態でダイヤルしてください（⇨P.2）。

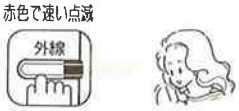
☞2　点灯しないときは、ほかの電話がハンズフリー通話中ですので、受話器をとって電話してください。
ハンズフリー通話の状態から受話器をとると、受話器を使った通常の通話に切替えることができます。また、受話器を持った通話からハンズフリー通話に切替える場合は、[スピーカ] ボタンを押してから受話器を置き、[マイク] ボタンを押してランプを点灯させます。
ハンズフリー通話中に [マイク] ボタンを押してランプを消灯させると、自分の声が相手に聞こえなくなります。

☞3　電話を切るときは [スピーカ] ボタンを押してください。

任意外線応答

外線ボタンが赤色で速く点滅している

電話が鳴っていなくても、赤色で速く点滅している [外線] ボタンを押すと応答できます。



内線代理応答

近くで電話が鳴っている

近くで内線着信音が鳴っているとき、同じ内線グループであれば [代理応答] ボタンを押して応答できます。

- 本システムでは、外線の着信先を４つのグループに分けることができます。ある外線に着信があると、その外線が所属するグループの電話機だけが応答できます。このグループのことを内線グループ（着信テナント）といいます。内線グループはテナント分けを利用した機能です。

オートリピートダイヤル　自動的にリダイヤルを繰返す

電話機が繰返しダイヤルしてくれます。話し中が多い相手に便利です。

- 1分間隔で設定回数（10回単位で最大90回）リダイヤルします。また、話中音が鳴っている間、またはリダイヤルを待っている間でも [リダイヤル] ボタンを押すとすぐにリダイヤルできます。
- リダイヤルを待っている間でも電話をかけることができます。通話が終わるとオートリピートダイヤルが再開します。

☞ 設定回数をリダイヤルすると自動的にオートリピートダイヤルは解除されますが、途中で解除したい場合次の2通りの方法があります。
(1) 話し中または呼出し中のときは、一度受話器をとり、受話器をもどします。
(2) リダイヤル待機中のときは、受話器を置いたまま [フック] ボタン、[リダイヤル] ボタンの順に押します。

内線ステップコール　近くの内線にかけなおす

ダイヤルした内線が話し中またはなかなか出ないときは、[#] ボタンを押すだけでかけなおすことができます。

- [#] ボタンを押して呼出すことのできる内線は、呼出している、または話し中になっている内線番号の次の番号で空いている内線を呼出します。呼出す電話機は同じ内線グループ（⇨P.12）の電話に限ります。

内線音声呼出　スピーカから呼びかける

ダイヤルした内線がなかなか出ないときは、相手の電話機のスピーカから音声で呼出すことができます。

- 音声で呼出されたときは、受話器をとるかまたは [マイク] ボタンが点灯していれば受話器をとらずに応答できます（⇨P.11）。

話中呼出

通話中の内線を呼出す

急な要件があるときは、通話中の内線に割込んで話すことができます。

- 相手がドアホンの応答などでスピーカを使用している場合は、呼出すことはできません。話中音「プープープー」が聞こえます。

話中呼出しをする

（話中音が鳴っている間に）→ 3 ☞1 ・・・ 相手が出たら話す

話中呼出しを受けたとき

（外線と通話中のときは）→ 保留 ☞2 ・・・ 元の相手と話すとき → 外線（緑色に点滅している）

（内線と通話中のときは）→ 保留 ☞2 ・・・ 元の相手と話すとき → フック → 保留

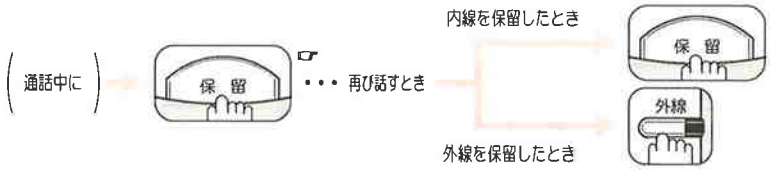
☞1　相手の電話機のスピーカから話中着信音「ピーピー」が鳴ります。
☞2　通話中の相手と再び話す必要がないときは、[保留] ボタンを押さずに受話器を置いてください。受話器を置くと内線着信音が鳴りますので、受話器をとって応答してください。

保　　留

通話中の相手を保留する

通話中の相手を一時保留します。保留中、相手には保留メロディを流します。

● 外線との通話を保留にして一定時間経過すると、スピーカから警告音が4秒間鳴ります。外線を長時間待たせることを防ぎます。ただし、データ設定が必要です。



☞ **外線を保留すると**

自分の電話機

同じ内線グループの他の電話機

赤色に点滅している 外線 ボタンを押せば、他の電話機からでも保留中の相手と話すことができます。

内線を保留すると

自分の電話機

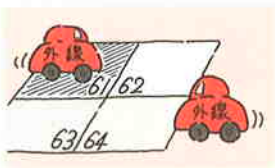
同じ内線グループの他の電話機

点灯している 保留 ボタンを押せば、他の電話機からでも保留中の相手と話すことができます。
内線の保留は同じ内線グループ（⇨P.12）内で1通話だけです。

● 保留したときに相手に流れる保留メロディは、「グリーンスリーブス」と「峠の我家」のどちらかを選ぶことができます。操作はマスター電話機で行ってください。

パーク保留

保留番号で外線を保留する



保留番号は、2桁の数字（61～64）で4つあります。

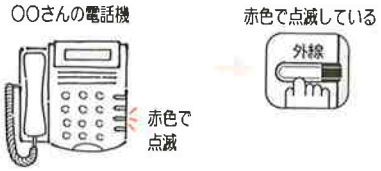
● パーク保留が1分以上続くと、通常の保留となり、パーク保留した電話機を呼びます。

簡易転送

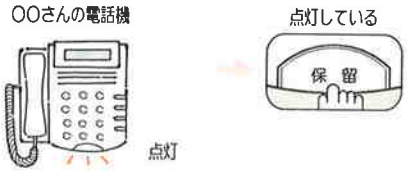
近くの内線に声をかけて転送する

声をかけて同じ内線グループ（⇨P.12）内の別の内線に転送します。

外線が転送されてきたとき

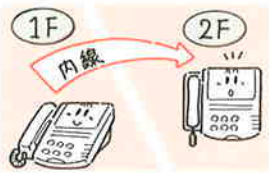


内線が転送されてきたとき



保留転送

離れている内線に転送する



他のフロアなどの離れている内線へ転送します。

- 転送先が話し中でなければ転送先の内線番号をダイヤルしたあと、相手を確認しないで受話器を置くことができます（強制転送）。このとき、30秒以内に転送先が応答しないと呼返し音が鳴ってもどってきます。受話器をとると、待たせている相手と話ができます。

☞ 転送先が不在または話し中のとき、または間違えてダイヤルしたときは、緑色に点滅している 外線 ボタンを押すと元の相手と通話できます。また、他の内線に転送するときは、フック ボタンを押してから他の内線番号をダイヤルします。

外線転送

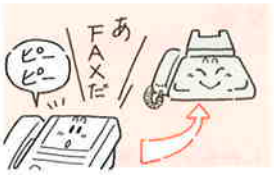
通話中の外線を別の外線へ転送する

- この通話は30分で切れます。通話が切れる30秒前に警告音「プップー」が鳴ります。
- 転送すると、保留した 外線 ボタンと発信に使用した 外線 ボタンの両方が赤色に点灯します。また、点灯している 外線 ボタンを押すと3者でお話しができます。
- 着信モード個別切替（⇨P.28）で、あらかじめ設定された外線に自動的に転送することもできます（自動転送電話）。

☞ 転送先が不在または話し中のとき、または間違えてダイヤルしたときは、緑色に点滅している 外線 ボタンを押すと元の相手と通話できます。

ファクス転送

ファクスへ転送する



かかってきた電話がファクスだった場合、ファクスに転送します。

- ファクスを使用中のときは転送できません。

☞1 通信が始まると ファクス ボタンのランプは点滅から点灯に変わります。点滅している間は、緑色に点灯している 外線 ボタンを押して転送を中止することができます。ただし、点灯になると、転送を中止することはできません。また、受話器を置いたあとも転送を中止することはできません。

☞2 キャンプオン ボタン（⇨P.33）を設定すれば、ファクス通信が終了したとき「ポロロ・ポロロ」音を鳴らすことができます。

設定を解除するときは、受話器を置いたまま フック ボタンのあと ファクス ボタンを押してください。

略称の入力

略称を入力する

（操作手順の概略）

略称は登録の途中で電話番号を入力したあと リダイヤル ボタンを押すことから始めます。

ワンタッチオートダイヤルの登録	設定 短縮 ワンタッチ 電話番号 リダイヤル 略称入力 リダイヤル 保留 設定
短縮ダイヤルの登録	設定 短縮 短縮番号 電話番号 リダイヤル 略称入力 リダイヤル 保留 設定
略称の取消し	設定 短縮 ワンタッチ または短縮番号 リダイヤル フック 保留 設定

（入力文字と入力モード）

入力する文字はダイヤルボタンを押す回数で決めます。また、カナ文字入力モードと英文字入力モードは スピーカ ボタンを押して切替えます。

スピーカ ボタンのランプが消灯時は
カナ文字入力モード

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
①	ア	ァ	イ	ィ	ウ	ゥ	エ	ェ	オ	ォ		
②	カ	キ	ク	ケ	コ							
③	サ	シ	ス	セ	ソ							
④	タ	テ	ツ	ッ	テ	ト						
⑤	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ							
⑥	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ							
⑦	マ	ミ	ム	メ	モ							
⑧	ヤ	ャ	ユ	ュ	ヨ	ョ						
⑨	ラ	リ	ル	レ	ロ							
⓪	ワ	ヲ	ン									
⊛	”	°	(	)	+	−	=	／	¥	$	%	&
⊞	空白	ー	.	,	・	’	:	<	>	?	!	

スピーカ ボタンのランプが点灯時は
英文字入力モード

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数 1	2	3	4	5	6	7
①	1	A	B	a	b		
②	2	C	D	c	d		
③	3	E	F	e	f		
④	4	G	H	g	h		
⑤	5	I	J	i	j		
⑥	6	K	L	k	l		
⑦	7	M	N	m	n		
⑧	8	O	P	o	p		
⑨	9	Q	R	q	r		
⓪	0	S	T	s	t		
⊛	*	U	V	W	u	v	w
⊞	#	X	Y	Z	x	y	z

例えば“セ”は スピーカ ボタンのランプが消灯の状態で
ダイヤルボタンの 3 を４回押すと入力できます。

（入力例）

“ゼロ A”を入力します。

- 入力した文字や数字を訂正するときは、▼／▲ ボタンを押してカーソルを変更したい文字に置き、再び入力してください。
- ダイヤルボタンまたは ▲ ボタンを押すと入力した文字が確定します。

その他の便利な機能

（漢字を入力する例）

“日本k” を入力します。

- 漢字表示用の専用電話機では、略称に10桁までの漢字と16桁までのひらがな・カタカナ・英文字を入力することができます。漢字は1文字づつその読みをひらがなで入力し、漢字に変換します。
- 同音語の中に希望する漢字が見つからないときは、再度 [保留] ボタンを押してください。次の同音語が表示されます。前の同音語にもどるときは [▼] ボタンを押します。漢字一覧は主装置に付属の使用説明書にあります。
- 漢字宛先とカナ宛先の切替えは [リダイヤル] ボタンで行います。
- [スピーカ] ボタンを押すごとにランプは点滅→消灯→点灯を繰返します。点滅時はひらがな文字入力モード、点灯時は英文字入力モード、消灯時はカタカナ文字入力モードとなります。

（漢字入力時の入力文字と入力モード）

入力する文字はダイヤルボタンを押す回数で決めます。また、カナ文字入力モードと英文字入力モードは［スピーカ］ボタンを押して切替えます。

［スピーカ］ボタンのランプが点滅時はひらかな文字入力モード

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
①	あ	ぁ	い	ぃ	う	ぅ	え	ぇ	お	ぉ					
②	か	き	く	け	こ	が	ぎ	ぐ	げ	ご					
③	さ	し	す	せ	そ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ					
④	た	ち	つ	っ	て	と	だ	ぢ	づ	で	ど				
⑤	な	に	ぬ	ね	の										
⑥	は	ひ	ふ	へ	ほ	ば	び	ぶ	べ	ぼ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
⑦	ま	み	む	め	も										
⑧	や	ゃ	ゆ	ゅ	よ	ょ									
⑨	ら	り	る	れ	ろ										
⓪	わ	を	ん												
⊛	（	）	＋	－	＝	／	￥	＄	％	＆					
＃	空白	ー	．	，	・	’	：	＜	＞	？	！				

［スピーカ］ボタンのランプが消灯時はカタカナ文字入力モード

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
①	ア	ァ	イ	ィ	ウ	ゥ	エ	ェ	オ	ォ					
②	カ	キ	ク	ケ	コ	ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ					
③	サ	シ	ス	セ	ソ	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ					
④	タ	チ	ツ	ッ	テ	ト	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド				
⑤	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ										
⑥	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	バ	ビ	ブ	ベ	ボ	パ	ピ	プ	ペ	ポ
⑦	マ	ミ	ム	メ	モ										
⑧	ヤ	ャ	ユ	ュ	ヨ	ョ									
⑨	ラ	リ	ル	レ	ロ										
⓪	ワ	ヲ	ン												
⊛	（	）	＋	－	＝	／	￥	＄	％	＆					
＃	空白	ー	．	，	・	’	：	＜	＞	？	！				

［スピーカ］ボタンのランプが点灯時は英文字入力モード

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数 1	2	3	4	5	6	7
①	1	A	B	a	b		
②	2	C	D	c	d		
③	3	E	F	e	f		
④	4	G	H	g	h		
⑤	5	I	J	i	j		
⑥	6	K	L	k	l		
⑦	7	M	N	m	n		
⑧	8	O	P	o	p		
⑨	9	Q	R	q	r		
⓪	0	S	T	s	t		
⊛	＊	U	V	W	u	v	w
＃	＃	X	Y	Z	x	y	z

例えば“k”は［リダイヤル］ボタンを使ってカナ宛先にして、［スピーカ］ボタンのランプが点灯の状態でダイヤルボタンの［6］を4回押すと入力できます。

スーパーユーザ

手元の電話機を自分の電話機の設定で使う

会議などで席を移動したときに移動先の電話機を自分の電話機の設定（内線番号、電話機別短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、フレキシブルキーアサインなどの全機能）で使うことができます。

- 設定および解除は手元の電話機で行います。
- スーパーユーザは同じタイプの専用電話機どうしでのみ利用できます。

スーパーユーザを設定する → 受話器を置いたまま → フック → 手元の電話機の内線番号 → 自分の電話機の内線番号

スーパーユーザを解除する → 受話器を置いたまま → フック → 自分の電話機の内線番号 → 手元の電話機の内線番号

音量調節

音量を調節する

▼/▲ ボタンを押すことによって着信音、受話音、スピーカ音の音量が調節できます。着信音は着信ベルが鳴っている間に、受話音は通話中に、スピーカ音はスピーカ受話中に調節します。音量を上げるときは ▲ を、音量を下げるときは ▼ を押してください。

着信していないときに着信音量を調節する → 受話器を置いたまま → 設定 → 9 → 3 → 外線（消灯している） → ▼音量▲ → 設定

外線ボタン割付

外線ボタンの割付けを変更する

外線は電話機ごとに任意の 外線 ボタンに割付けられます。

● 外線ボタンの機能コードは301～304（下2桁が外線ボタンの番号）です。

受話器を置いたまま → フック → 割付ける 外線 → 0 0 0 → 外線ボタンの機能コード

マスター電話機で他の内線の外線割付けを変更する

受話器を置いたまま → 設定 → 2 → 内線番号 → 割付ける 外線 → 0 0 0

続けて同じ内線を変更するとき → ＊

続けて他の電話機を変更するとき → 外線ボタンの機能コード → 保留

マスターコール

マスター電話機をさがす

マスター電話機がどれか分からないときに便利です。次の操作で着信音が鳴った電話機がマスター電話機です。

内線発信状態 (⇨P.2) で → ＊ ＊ →

マスター電話機

PB信号送出

トーン信号で各種の電話サービスを受ける

銀行の残高照会、航空券予約、株式売買などのトーン信号による各種サービスが受けられます。通常の電話の要領でサービスセンターに電話をかけ、相手が出たらダイヤルボタンの [＊] を押します。以降、トーン（プッシュホン）信号が発信できるようになりサービスが受けられます。ただし、回線がPB回線のときは、[＊] を押す必要はありません。また、メモダイヤルを入力しているときは、この機能は使えません。

フッキング送出

NTTのキャッチホンサービスに応答する

外線と通話中に [フック] ボタンを押してNTTのキャッチホンサービスに応答することができます。

（外線と通話中に）→ フック

時計表示

日時を合わす

正しい年月日、時刻を時計にあわせて設定します。

● 設定および変更はマスター電話機で行います。

（受話器を置いたまま）→ 設定 → ＃ →（日時を入力）☞ → 設定 → 8/10 TUE 10:00 内11

YYMMDDHHmmW ニチジ
92122411000

8月10日（火） 10:00 内11

YY:年 HH:時
MM:月 mm:分
DD:日 W:曜日

☞ 年は西暦の末尾2桁を入力します。月日は必ず2桁で入力します。時間は必ず24時間制で入力します。曜日は下表に従って設定します。

W	0	1	2	3	4	5	6
曜日	日	月	火	水	木	金	土

セーブダイヤル　メモした電話番号をそのまま登録する

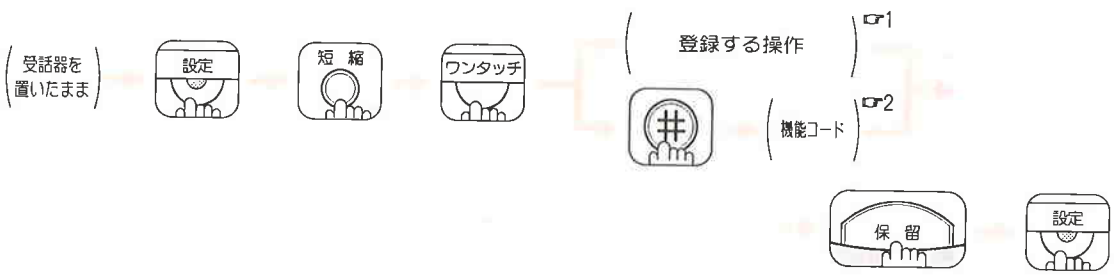
メモダイヤル（⇨P.35）に記憶されている電話番号をそのままワンタッチオートダイヤルや短縮ダイヤルに登録できます。

- 登録を途中で中止したいときは、受話器を上げるか 設定 ボタンを押してください。保留 ボタンを押す前であればいつでも中止できます。

プログラマブルキー　ワンタッチボタンに機能や操作を登録する

通常、ワンタッチボタンは本来の機能のワンタッチオートダイヤルとして使用しますが、例えば、会議室の内線に不在転送する操作をワンタッチボタンに登録しておけばワンタッチで不在転送が設定できます。また、機能を登録すれば機能ボタンになります。

- ワンタッチボタンを機能ボタンとして使用できるのは8個までです。
- プログラマブルキーの登録内容の確認および取消しのしかたは、ワンタッチオートダイヤル（⇨P.7）と同じです。
- 設定 、リダイヤル 、外線 、短縮 、保留 、フック および マイク ボタンを登録に使用するときは、受話器をとってからそれぞれのボタンを押してください。＃ ボタンを使用するときは続けて2回押してください。ただし、ワンタッチ 、スピーカ 、▼/▲ 、内線呼出 ボタン、未使用の 外線 ボタンおよび未設定の機能ボタンは登録できません。
- 登録を途中で中止したいときは、受話器を上げるか 設定 ボタンを押してください。保留 ボタンを押す前であればいつでも中止できます。

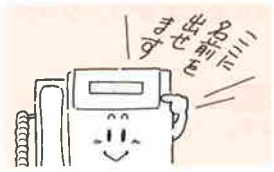


☞1　例えば、内線番号15へ不在転送（⇨P.31）する操作を登録するときは、不在 → 1 → 1 5 と押します。

☞2　機能コードは29ページを参照してください。入力できる機能コードは100番台だけです。

内線名称表示

内線の名称を表示する



自分の電話機に自分の名前を表示したり、かけた相手の名前を表示させることができます。

- 設定はマスター電話機で行います。
- 受話器を置いた状態の表示は以下のようになります。

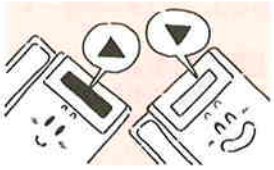
8/10 TUE 10:00 ﾔﾏﾓﾄ 内11	8月10日（火） 10:00 山本 内11

受話器を置いたまま → 設定 → 3 → 内線番号 → 名前を入力 ☞ → 設定

☞ 入力のしかたは18ページをご覧ください。最大10桁の文字を入力することができます。

LCD表示濃度調節

ディスプレイの濃さを調節する

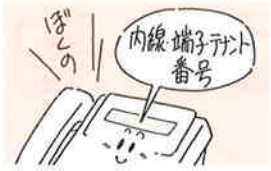


ディスプレイの濃さが６段階に調節できます。濃くするときは ▲ を、薄くするときは ▼ を押してください。

受話器を置いたまま → 設定 → 9 → 0 → ▼音量▲ → 設定

自己情報表示

自分の電話機の内線番号やテナント番号を確認する



ディスプレイ付きの専用電話機の場合、自分の電話機の内線番号、端子番号、テナント番号などの自己情報が表示できます。

- 10秒間表示します。

受話器を置いたまま → 設定 → 9 → 1

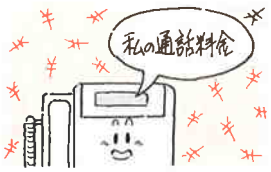
内11 ﾀﾝｼNo. 01 ﾊｯｼﾝｿｰ=1 ﾁｬｸｼﾝｿｰ=1

漢字表示用専用電話機の場合

内線番号11端子番号01 発信ﾃﾅﾝﾄ1 着信ﾃﾅﾝﾄ1

自己通話料金表示

自分の電話機の集計料金を表示する



自分の電話機の通話料金の集計額と予算を表示します。

● 予算の設定方法は27ページをご覧ください。

（受話器を置いたまま） → 設定 → 9 → 2 ☞ → 設定

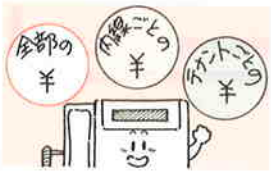
☞ 通話料金（ジッセキ）と予算（ヨサン）が１０秒間表示されます。

漢字表示用専用電話機の場合

ｼﾞｯｾｷ	8500円	実績	8500円
ﾖｻﾝ	10000円	予算	10000円

料金集計表示

電話機の集計料金を表示する



● 操作はマスター電話機で行います。
● 料金は10秒間表示されます。

すべての電話機の集計料金を表示する

（受話器を置いたまま） → 設定 → 0 → 1 ☞1 → 設定

ﾄｰﾀﾙ	185100円	合計	185100円
ﾆｯｽｳ	125日	集計日数	125日

内線ごとの集計料金を表示する

（受話器を置いたまま） → 設定 → 0 → 2 → （内線番号） ☞2 → 設定

内15	8500円	内15	8500円
5/20	15:00ヨ	11月20日	15:00より

テナントごとの集計料金を表示する

（受話器を置いたまま） → 設定 → 0 → 3 → （発信テナント番号） ☞3 → 設定

ﾃﾅﾝﾄﾍﾞﾂ ﾘｮｳｷﾝ		テナント別料金集計	
ﾃﾅﾝﾄ1	178430円	ﾃﾅﾝﾄ1	178430円

☞1 料金を表示している間に、フック ボタンを押すと集計額がクリアできます。

☞2 料金を表示している間に ▼／▲ ボタンを押して料金の1桁目にカーソルを置き フック ボタンを押すと集計額がクリアできます。料金は0円になり課金開始日時を現在の日時にします。
料金を表示している間に ＃ ボタンを押すと次の内線の料金を表示します。また、＊ ボタンを押すと、設定した予算額が表示できます。そのあと ＃ ボタンを押すと料金表示にもどります。

☞3 料金を表示している間に ＃ ボタンを押すと次の発信テナントの料金を表示します。

予算管理発信規制

電話機ごとに通話予算を設定する

通話料金が予算額を超えたとき電話をかけられなくします。

- 設定はマスター電話機で行います。
- 予算額で発信を規制するほかに、データ設定でサービスクラス（発信可能区域）を設定したり、天気予報（177）やダイヤルQ²（0990）など特定の番号のダイヤル発信を規制することができます。

受話器を置いたまま → 設定 → 0 2 → 内線番号 ☞1 → ＊ → 予算額入力 ☞2 → ＊ ☞3

続けて他の内線を設定するとき → 設定

☞1　内線番号00をダイヤルすると、全内線への予算設定になります。
☞2　間違って入力したときは、フック ボタンを押して入力しなおしてください。予算額は6桁まで入力できます。
☞3　この操作を省略した場合は予算設定のみで、発信規制は行いません。

予算額を変更する

受話器を置いたまま → 設定 → 0 2 → 内線番号 → ＊ → フック → ＊ → 予算額入力 → 設定

キーイントーン

ボタンを押すと音が鳴る

専用電話機のボタンを押したとき「ピッ」という音を鳴らします。これをキーイントーンと呼びます。

音を鳴らしたくないとき：受話器を置いたまま → 設定 → 9 5 0 → 設定

音を鳴らすとき：受話器を置いたまま → 設定 → 9 5 1 → 設定

ヘッドセット通話

ヘッドセットで通話する

オプション

オプションのヘッドセットを使って通話することができます。

- ヘッドセットを使って電話をかけるとき、切るときは スピーカ ボタンを押します。

ヘッドセット通話にする → (ヘッドセットを接続) → 設定 → 9 6 1 → 設定

ハンドセット通話にもどす → (ハンドセットを接続) → 設定 → 9 6 0 → 設定

着信モード個別切替

着信モードを一時的に切替える

手動によって着信モードを外線ごとに一時的に切替えることができます。夜間などで、守衛所に集中着信するように設定されている場合に、１つの外線だけ通常着信に設定したい場合に便利です。

- 切替えはマスター電話機で行います。
- 週間自動着信モード切替が設定されている場合は、切替時刻になると着信モードは自動的に切替わります。
- 夜間／休日切替の説明は38ページをご覧ください。

(受話器を置いたまま) → 設定 → 外線 → (着信モード番号) → 設定

0：通常着信
1：集中着信
2：自動転送電話
3：DIL着信
4：DID着信
5：スライド着信
6：夜間着信

(例) 週間自動着信モード切替表

データ設定

曜日 / 切替時間	日	月～金	土
AM 9：00	集中着信	通常着信	スライド着信
PM 12：00	集中着信	スライド着信	集中着信
PM 1：00	集中着信	通常着信	集中着信
PM 5：00	集中着信	自動転送電話	集中着信
PM 10：00	集中着信	集中着信	集中着信

業務内容に応じて、電話機を使いやすくするために必要な機能を機能ボタンや外線ボタンに設定することができます。

● 機能ボタンや外線ボタンのほかに、プログラマブルキーとしてワンタッチボタンに機能を登録することもできます（⇨P.24）。

受話器を置いたまま → フック → → 機能 / 外線 → 0 0 0 ☞

続けて登録するとき → 機能コード →

☞ 設定した機能を消去したいときは、このあと受話器をもどしてください。

（機能ボタンの種類）

必要に応じて次の中から選ぶことができます。

＊はマスター電話機からのみ登録できます。

機能コード	機能ボタンの名称	機能コード	機能ボタンの名称
100	設定（標準装備）	114	メモダイヤル
101	代理応答（標準装備）	115	伝言
102	内線（標準装備）	116	フラッシュ
103	ファクス（標準装備）	117	電話帳
104	マイク（標準装備）	＊ 118	夜間／休日
105	アラーム	＊ 119	夜間発信
106	不在	＊ 120	LCRオフ
107	自己保留	210～299	内線呼出、内線状態表示（下２桁が内線番号です）
108	ドアホン		
109	会議通話		
110	一斉	301～304	外線ボタンの割付（下２桁が 外線 ボタンの番号です）
111	キャンプオン		
112	放送		
113	オートダイヤラ		

マスター電話機で他の電話機に機能を設定する

受話器を置いたまま → 設定 → 2 → 設定する電話機の内線番号 → 機能 / 外線 → 機能コード → 保留

続けて同じ内線に設定するとき

続けて他の電話機に設定するとき

アラーム

時報やアラームを鳴らす　キーアサイン

取消しをするまで毎日指定時刻にスピーカからアラームが鳴ります。

- アラーム音は15秒間鳴ります。アラーム音を止めたいときは任意のボタンを押してください。

（受話器を置いたまま）→ [アラーム] →（時刻を入力）☞ ・・・ 5秒後に日時表示にもどる

☞ [アラーム] ボタンを押してから10秒以内に時刻の入力を開始しないと登録はキャンセルされます。
時刻は24時間制で入力します。
例：午後1時30分→ [1] [3] [3] [0]
“分”だけ指定すると、毎時、指定した“分”にアラームが鳴ります。
例：時報→ [＊] [＊] [0] [0]

アラームの設定を取消す　（受話器を置いたまま）→ [アラーム] → [フック]

不在設定

着信を一時的に拒否する　キーアサイン

重要な打合せをするなど、しばらく電話を受けたくないときに便利です。

- 電話をかけてきた相手のディスプレイには「フザイ　セッテイチュウ」と表示します。
- 不在設定中でも電話はかけられます。

（受話器を置いたまま）→ [不在] ・・・ 解除するとき [不在]

不在転送

行先の内線へ転送させる

キーアサイン

会議などで席を離れているとき、自分の席にかかってきた電話を自動的に行先の内線電話に転送します。

- 不在転送には、自分の電話機から転送先を指定する方法（転送先指定）と、逆に、転送先の電話機から転送元を指定する方法（転送元指定）があります。

転送先を指定する：（受話器を置いたまま）→ 不在 → 1 ☞1 →（転送先の内線番号）

転送元を指定する：（受話器を置いたまま）→ 不在 → 2 ☞1 →（転送元の内線番号）

不在転送を解除する：（受話器を置いたまま）☞2 → 不在

☞1　5秒以内に押してください。
☞2　解除は転送元の電話機で行います。

外線自己保留

自分の電話機だけで保留する

キーアサイン

保留した電話は他の電話機でとることができません。

（外線と通話中に）→ 自己保留 ・・・ 再び話すとき → 外線（緑色に点滅している）

ドアホン

ドアホンに応答する

オプション　キーアサイン　データ設定

「ピンポーン」と鳴っている電話機では、受話器をとるだけでドアホンに応答できます。近くで「ピンポーン」と鳴っている場合は、受話器をとり、点滅している [ドアホン] ボタンを押すと応答できます。

● [ドアホン] ボタンのない電話機からドアホンに応答する場合は、内線発信状態（⇨P.2）で [9] [0] とダイヤルしてください。

電話機から ドアホンを呼出す → 受話器をとる → ドアホン → ドアホンの番号 ①または②

会議通話

3人で同時に通話する

キーアサイン

内線・外線を問わず2者間の通話にもう1人加えて3者による通話ができます。会議通話は、システムで1組だけ行うことができます。

通話中に → 保留 → 加えたい相手の番号 ☞ → 会議通話

☞ 加えたい相手が外線のときは、ランプが消えている [外線] ボタンを押してから番号をダイヤルします。間違えてダイヤルしたときは、[フック] ボタンを押してダイヤルしなおしてください。

秘話解除

口頭で相手の方から通話に参加させる

キーアサイン

通常、通話中は“秘話”機能がはたらくため第三者が通話を聞くことはできません。しかし、この機能を解除すれば通話に参加できるようになります。これを秘話解除といいます。

赤色で点滅している

外線と通話中に → 会議通話 ☞1 → ☞2 → ・・・ 呼ばれた人は → 外線

☞1 通話中の外線が秘話解除されます。秘話解除をしたあとに [フック] ボタンを押すと再び秘話になります。

☞2 会議に参加できるのは、秘話解除を行った電話機と同じ内線グループ（⇨P.12）内の電話機に限ります。

グループ一斉呼出

グループごとに音声で呼びかける　キーアサイン　データ設定

相手がどこにいるかわからないときや、お知らせがあるときなど全電話機またはグループごとにスピーカから音声で呼びかけることができます。

受話器をとる → 一斉 → グループ番号 ☞

⑨　：自分と同じグループ内で呼出す
①～④：呼出すグループを指定する
⓪　：すべての専用電話機で呼出す

☞ グループ内の電話機の 一斉 ボタンのランプが点灯します。また、呼出すグループがひとつしか設定されていない場合は省略できます。

呼出されたときの電話のとりかた

受話器をとる → 一斉

一斉ボタンのない電話機から応答するとき

内線発信状態 (⇨P.2) で → 7 → ＊

外線予約

外線が空いていないので予約する　キーアサイン

すべての外線が使用中のとき、外線を予約しておけば外線が空きしだい知らせてくれます。

受話器を置いたまま → キャンプオン → 0 ☞1 → ☞2 → 受話器をとってダイヤル

☞1　0 の代わりに使いたい 外線 ボタンを押すと、その外線で予約できます。
☞2　20秒以内に受話器をとらないと予約は取消されます。

予約を取消す

受話器を置いたまま → フック → キャンプオン

内線予約

内線が話し中なので予約する　キーアサイン

相手が通話を終えて受話器を置くと「ポロロ・ポロロ」音が鳴り、受話器をとると自動的に相手を呼出します。

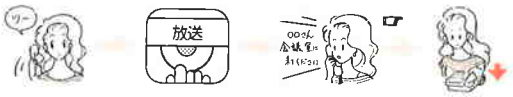
☞ 15秒以内に受話器をとらないと、予約は取消されます。

予約を取消す

構内放送

外部スピーカを使って放送する　オプション　キーアサイン

電話機からの音声を外部スピーカを使って放送できます。また、放送で呼出した人との内線通話ができます。



☞ 呼ばれた人は近くの電話機から内線発信状態（⇨P.2）で 9 4 をダイヤルすると放送している人とお話できます。

オートダイヤラ発信

ダイヤラを使ってかける　キーアサイン

市販のオートダイヤラのPB信号を使って外線にダイヤルします。

☞ オートダイヤラ ボタンを押してから20秒以内に番号を入力してください。

メモダイヤル

通話中に番号を記憶させ、あとでかける　キーアサイン

電話を切ったあと、[メモダイヤル]ボタンを押すだけで通話中に記憶させた番号の相手にかけられます。

- 記憶できるのは外線の電話番号だけで、16桁までの番号です。消去するまで記憶されます。

（外線と通話中に）→ メモダイヤル →（番号を入力）☞1 → 通話が終了したら ☞2 → 消灯している 外線 → メモダイヤル

☞1　間違えて入力したときは、再度[メモダイヤル]ボタンを押してから入力しなおしてください。

☞2　[フラッシュ]ボタン（⇨P.37）がある場合は、通話が終了しても受話器を置かずに[フラッシュ]ボタンを押し、続けて[メモダイヤル]ボタンを押すと待たずにメモダイヤルできます。
クイック発信（⇨P.5）が設定されている場合は、受話器を置いたまま[メモダイヤル]ボタンを押して発信できます。

メモした電話番号を表示し、確認してから発信する

（受話器を置いたまま）→ メモダイヤル → 消灯している 外線 ・・・ 相手が出たら

メモした電話番号を消去する

（受話器を置いたまま）→ フック → メモダイヤル

メッセージウェイト

電話を待っていることを相手に伝える　キーアサイン

相手が話し中または応答しないときに、相手の電話機に自分の内線番号とかけた時刻を表示させ、電話を待っていることを知らせます。

- 伝言できるのは1ヶ所だけです。伝言を取消したいときは、もう一度その内線に電話をかけてください。

（話中音または呼出音が鳴っている間に）→ 伝言 ☞1 → ☞2

☞1　[伝言]ボタンを持たない専用電話機でメッセージウェイトを行う場合は、ここでダイヤルボタンの[2]を押してください。

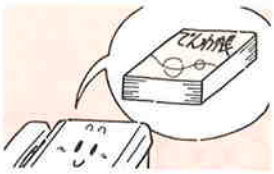
☞2　[スピーカ]ボタンを押してかけたときは、もう一度[スピーカ]ボタンを押します。

伝言を受けた側では

- 受けたメッセージが複数のときは、[伝言]ボタンを押すごとに他のメッセージが表示されます。メッセージは4つまで受取ることができます。ただし、[伝言]ボタンのない電話機ではひとつです。
- 受けたメッセージを消すときは、繰返し[伝言]ボタンを押して消したいメッセージ番号を表示させ[フック]ボタンを押します。また、伝言した相手に電話をするとメッセージは消えます。

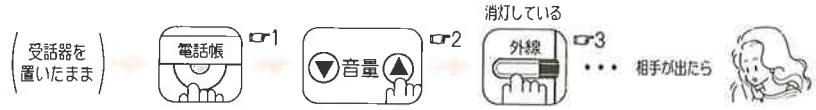
電子電話帳

電話帳メモリカードを使ってかける　オプション　キーアサイン



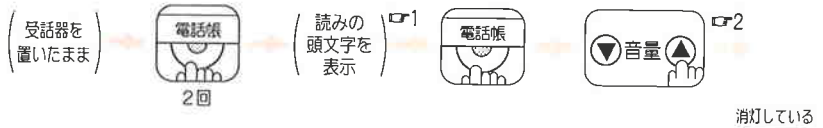
電話番号が記憶されたオプションの電話帳メモリカードを主装置にセットすることにより、記憶された電話番号を検索、表示し、発信することができます。

● 電話番号を表示中に着信音が鳴ったときは、赤色で速く点滅している 外線 ボタンを押すと応答できます。



☞1　使用頻度の高い電話番号ほど早く表示します。
☞2　▲ で順送り、▼ でもどります。発信しないときは、フック ボタンを押してください。
☞3　目的の番号を表示させてから10秒以内に押してください。

略称の読みから電話番号をさがしてダイヤルする



☞1　下表から、ダイヤルボタンを必要回数押してください。
☞2　途中でやめたいときや発信しないときは フック ボタンを押してください。
メモリカードに登録されている電話番号だけでなく、略称が入力されていればワンタッチオートダイヤルや短縮ダイヤルなども表示されます。

スピーカ ボタン消灯時はカナ文字

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
①	ア	ァ	イ	ィ	ウ	ゥ	エ	ェ	オ	ォ		
②	カ	キ	ク	ケ	コ							
③	サ	シ	ス	セ	ソ							
④	タ	テ	ツ	ッ	テ	ト						
⑤	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ							
⑥	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ							
⑦	マ	ミ	ム	メ	モ							
⑧	ヤ	ャ	ユ	ュ	ヨ	ョ						
⑨	ラ	リ	ル	レ	ロ							
⓪	ワ	ヲ	ン									
※	”	。	（	）	＋	－	＝	／	￥	＄	％	＆
#	空白	ー	．	，	・	’	：	＜	＞	？	！	

スピーカ ボタン点灯時は英数字

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数						
	1	2	3	4	5	6	7
①	1	A	B	a	b		
②	2	C	D	c	d		
③	3	E	F	e	f		
④	4	G	H	g	h		
⑤	5	I	J	i	j		
⑥	6	K	L	k	l		
⑦	7	M	N	m	n		
⑧	8	O	P	o	p		
⑨	9	Q	R	q	r		
⓪	0	S	T	s	t		
※	*	U	V	W	u	v	w
#	#	X	Y	Z	x	y	z

電話帳メモリカードに電話番号を登録する

受話器を置いたまま → 設定 → 電話帳 → リダイヤル → 登録する電話番号 → リダイヤル → 略称を入力 ⇨P.18 → リダイヤル ☞ → 保留 → 設定

☞ 操作を途中で中止したいときは 設定 ボタンを押してください。保留 ボタンを押す前であればいつでも中止できます。

電話帳メモリカードから電話番号を削除する

受話器を置いたまま → 設定 → 電話帳 → ▼音量▲（削除する番号を検索） → フック → 保留 → 設定

フラッシュ機能

電話を切る操作を省略する　キーアサイン

外線をいったん切ると同時にそのまま同じ外線が使用できる機能です。他の人にその外線を使われることがないので、外線が空くのを待つことなくかけられて便利です。

通話が終了したら → フラッシュ → 外線番号をダイヤル

夜間／休日切替

夜間／休日用に着信モードを切替える　キーアサイン　データ設定

夜間切替を行う時刻が不規則なときや臨時に休日切替をするときなどに、この操作を行います。

- 切替えはマスター電話機で行います。
- 夜間／休日 ボタンのランプが点灯中は週間自動着信モード切替は作動しません。
- 着信モード個別切替の説明は28ページをご覧ください。

受話器を置いたまま → 夜間／休日 → 着信モード番号 ☞ → 夜間／休日（解除するとき）

0：昼1
1：昼2
2：夜1
3：夜2
4：休日

☞ 5秒以内に着信モード番号を入力しないと、自動的に夜1が選択されます。

（表1）外線ごとに昼1、昼2、夜1、夜2、休日の着信モードを設定する例

外線＼時間帯	昼1	昼2	夜1	夜2	休日
外線1	通常	スライド	DIL	スライド	集中
外線2	通常	スライド	DIL	DID	集中
外線3	通常	スライド	スライド	自動転送電話	集中
外線4	通常	スライド	スライド	自動転送電話	集中

（表2）曜日、時間帯ごとに全外線の着信モードを設定する例

切替時刻＼曜日	日	月～金	土
AM 9:00	休日	昼1	昼2
PM12:00	休日	昼2	休日
PM 1:00	休日	昼1	休日
PM 5:00	休日	夜1	休日
PM10:00	休日	夜2	休日

土曜日の午前9時から12時までは全外線がスライド着信になります。

夜間発信

サービスクラスを切替える　キーアサイン　データ設定

夜間発信 ボタンを押して、サービスクラスを昼間用または夜間用に切替えることができます。夜間発信 ボタンのランプが点灯中は、全内線が夜間用のサービスクラスになります。切替えはマスター電話機で行います。

LCRオフ

LCRからNTT回線に切替える　オプション　キーアサイン

マスター電話機にある［LCRオフ］ボタンを押してランプを点灯させるとスーパーLCRが利用できなくなり、システム全体が通常のNTT回線に切替わります。もう一度［LCRオフ］ボタンを押してランプを消灯させると、スーパーLCRが利用できます。

- LCR（Least Cost Routing）とは、通話料金の最も安いルートを選択することをいいます。電話をかける地域や時間帯などによって、システムが自動的にこのルートを選択してくれます。発信のしかたは、通常の外線発信のときと同じです。
- LCRの判定基準時間は通常3分に設定されていますが、3分にするか1分にするか、電話機ごとに変更できます。
- LCRの回線が混んでいてかかりにくいときや急いでいるときは電話をいったん切り、未使用の［外線］ボタンを押して「ツー」音が聞こえたらもう一度同じ［外線］ボタンを押し、ダイヤルしなおすと通常のNTT回線に切替えることができます。

LCRの判定基準時間を3分に変更する：（受話器を置いたまま）→［設定］→［9］［4］［1］→［設定］

LCRの判定基準時間を1分に変更する：（受話器を置いたまま）→［設定］→［9］［4］［2］→［設定］

電話をかけるごとに判定基準時間を逆にする：

内線受信状態で →［#］→（相手番号）・・・（受話器を置くともとの設定にもどる）

内線呼出

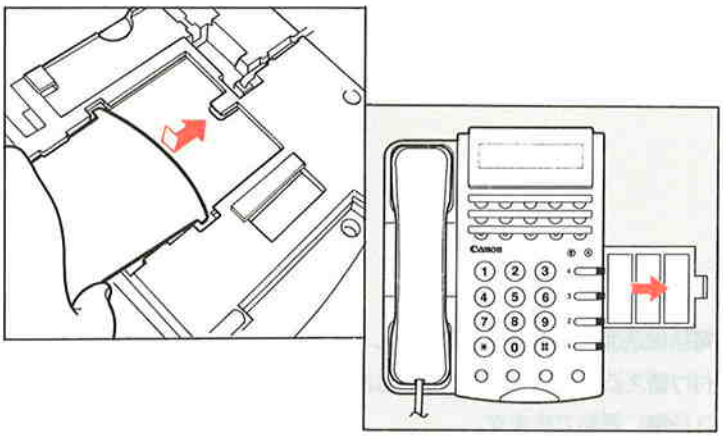
ワンタッチで内線にかける　キーアサイン　データ設定

ボタンを押すだけで、その内線にかけられます。また、その内線が通話中のときはボタンのランプが点灯しますので、その内線の使用状態が一目でわかります。

- ［内線呼出］ボタンのランプが点灯しているときに押すと、その内線への話中呼出（⇨P.14）になります。
- 内線または外線と通話中に［内線呼出］ボタンを押すと、通話中の相手を保留してその内線にワンタッチで転送することができます。

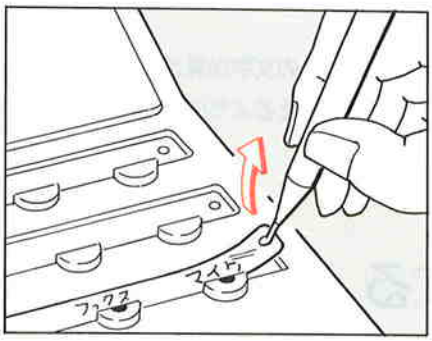
（受話器を置いたまま）→［内線呼出］

短縮シートの取付けかた



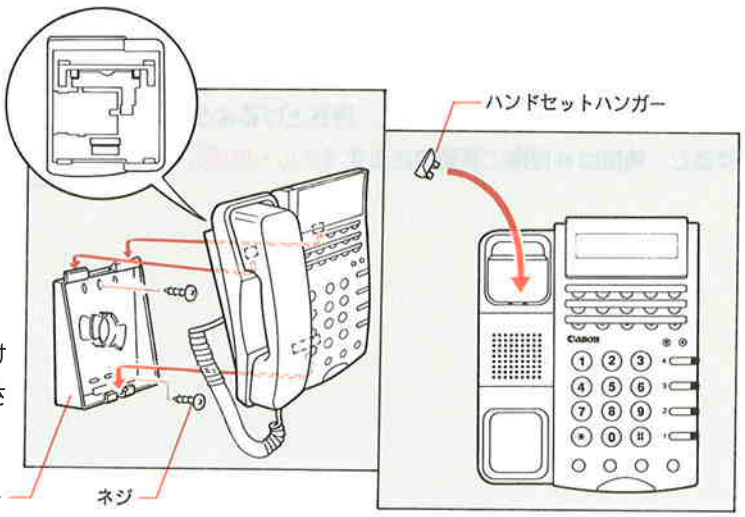
短縮シートは図のように軽く曲げて、電話機底面に取付けてからご利用ください。

ワンタッチシート、ファンクションシートの取外しかた



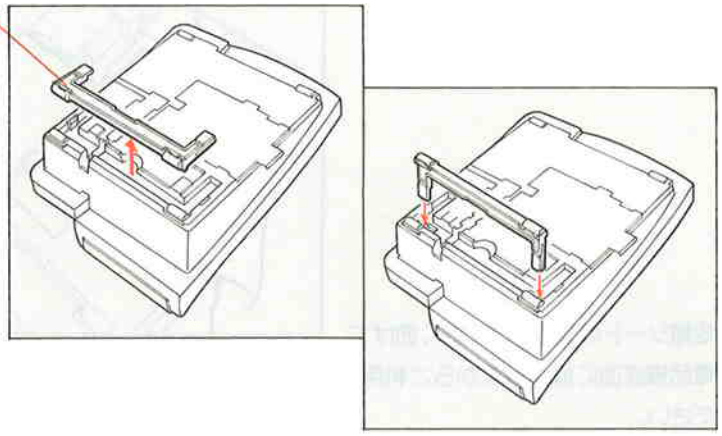
プラスチックシートの穴に差込み、そのまま持ち上げてください。

壁かけ用アクセサリーの取付けかた

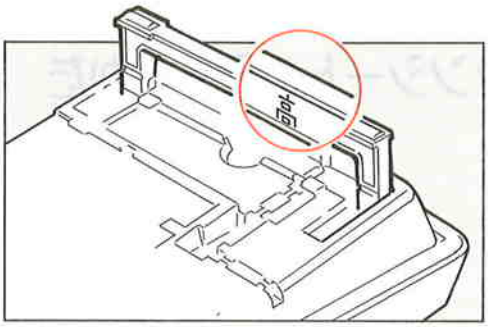


壁かけにする場合は、別売の壁かけ用アクセサリーをお買い求めください。

電話機の角度を調節する

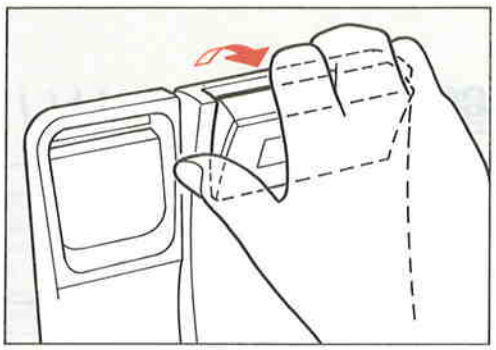


電話機底面にある傾斜足を取外し、付け替えることで、電話機の角度は３段階に調節できます。



傾斜足収納時が１段目、「低」の文字が見えるように取付けると２段目、「高」の文字が見えるように取付けると３段目になります。

ディスプレイの角度を調節する

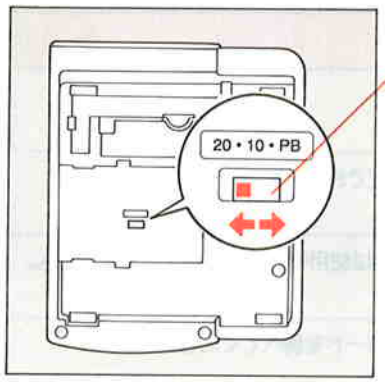


ディスプレイの溝に指をひっかけ、持ち上げるようにすると、角度は４段階に調節できます（チルト機構）。

停電のとき

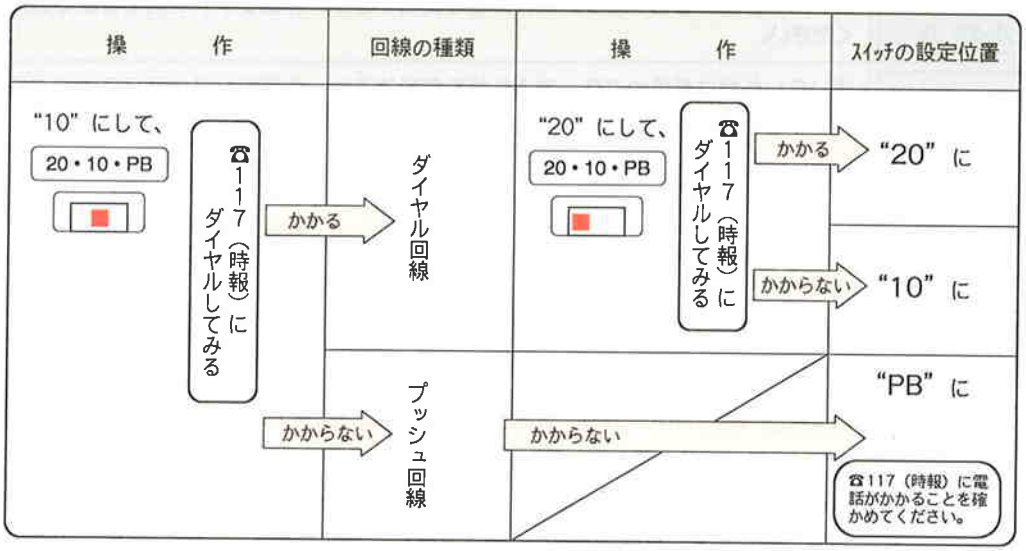
停電時は、停電用に設定されたディスプレイ付き専用電話機でのみ外線の発信と着信ができます。その際、ダイヤルボタン以外の機能ボタンは使用できません。

停電用の電話機は設置時に工事保守店が設定しますので、特別な操作は必要ありませんが、回線種別切換スイッチが契約している回線と合っているかどうか確かめてください。



- 設定を誤ると電話がかかってきたときは通話できますが、電話をかけることはできません。
- 回線種別が不明の場合は、最寄りのNTTの支店・営業所にお問い合わ

（自分で回線の種類を確かめるには ）



- ☎117（時報）に電話をかけると、通話料金がかかります。
- 通話中に停電になったとき、および停電が復旧したとき電話は切れます。

エラーメッセージ

● 大型ディスプレイ付き専用電話機では、メッセージは漢字で表示されます。

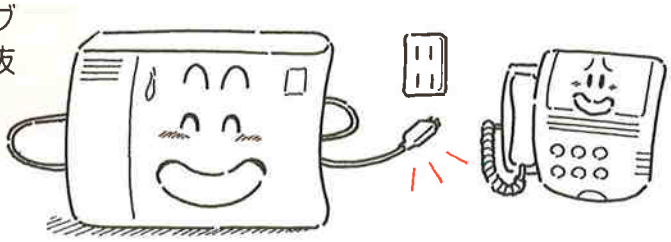
エラーメッセージ	内 容 と 処 置
ICｶｰﾄﾞ ﾅｼ	メモリカードが入っていません。
ｱｲﾃ ｼﾖｳﾁｭｳ	相手の電話機が使用中ですので、スーパーユーザは設定できません。
ｱｲﾃ ｼﾖｳﾁｭｳ	マスター電話機で機能ボタンを設定中、指定した電話機は使用中ですので設定はできません。
ｶｰﾄﾞｶﾞ ﾌｾｲﾃﾞｽ	電話帳用以外のメモリカードが入っています。メモリカードを調べてください。
ｶﾞｲｾﾝ ﾊｯｼﾝ ﾌｶ	外線への発信が規制されています。規制されていない電話機でかけてください。
ｶﾞｲｾﾝﾁｬｸｼﾝ ｱﾘ	使いたい外線は着信中です。他の外線を使用するか、外線ランプが消えるまでお待ちください。
ｶﾞｲｾﾝﾎｰｸﾃﾞｷﾏｾﾝ	使いたい外線は着信中です。他の外線を使用するか、外線ランプが消えるまでお待ちください。
ｶﾞｲﾄｳ ﾅｼ	入力した読みに該当する漢字がありません。他の読みで入力してください。
ｺｸｻｲ ﾊｯｼﾝ ﾌｶ	国際発信が規制されています。規制されていない電話機でかけてください。
ｼﾖｳﾁｭｳ	使いたい外線は使用中です。他の外線を使用するか、外線ランプが消えるまでお待ちください。
ｼｶﾞｲ ﾊｯｼﾝ ﾌｶ	市外発信が規制されています。規制されていない電話機でかけてください。
ｼﾞｭﾜｷ ﾖ ｵｲﾃｸﾀﾞｻｲ	ダイヤルした内線番号はありません。または受話器が外れたままになっています。
ｽﾃﾞﾆﾄｳﾛｸｱﾘ	すでに予約中です。別の予約はできません。
ｿｳﾁ ﾅｼ	ドアホン、または放送のための装置がありません。
ﾀｲﾌﾟ ﾌｲｯﾁ	電話機のタイプが異なりますのでスーパーユーザの設定はできません。
ﾀﾉﾃﾞﾝﾜｷﾃﾞｾｯﾃｲﾁｭｳ	他の電話機で設定操作中です。終了するまでお待ちください。
ﾀﾞｲﾔﾙｶﾞｱﾘﾏｾﾝ	ダイヤル番号を入力するか、名称を消去してください。

エラーメッセージ	内 容 と 処 置
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ｱｷﾅｼ	電話帳に空きスペースがありませんので、登録できません。
ﾄｳﾛｸﾁｭｳﾉｶｷｶｴ	機能ボタンを消去してから、設定をやりなおしてください。
ﾄｳﾛｸﾅｼ	ダイヤルした短縮番号は登録されていません。
ﾄｳﾛｸﾌｶ	外線予約、および内線予約はできません。
ﾄｳﾛｸﾃﾞｰﾀﾅｼ	登録データが１件もありませんので、検索できません。
ﾄﾞｱﾎﾝﾁｬｸｼﾝ ﾅｼ	ドアホンからの着信はありません。
ﾆｼﾞｭｳﾄｳﾛｸ	設定しようとしている機能は、すでに他のボタンに設定されています。
ﾊｯｼﾝ ﾌｶ	外線への発信が規制されていますので、発信できません。規制されていない電話機でかけてください。
ﾊｯｼﾝ ﾌｶ ｶﾞｲｾﾝ	外線への発信が規制されていますので、発信できません。規制されていない外線で発信してください。
ﾊｯｼﾝ ﾌｶ ﾀﾞｲﾔﾙ	ダイヤルした番号は発信が規制されていますので、発信できません。
ﾊﾞﾝｺｳ ｱﾔﾏﾘ	登録しようとした短縮番号は、規定の範囲を越えています。
ﾌｾｲﾅﾃﾞｰﾀｱﾘ	登録中の内容に不正なデータがあります。メモリカードを調べてください。
ﾎｳｿｳ ﾅｼ	放送はされていません。
ﾎﾘｭｳﾅｼ	パーク保留はされていません。
ﾖｻﾝ ｵｰﾊﾞｰ	設定した予算額を超えています。

故障かなと思ったら

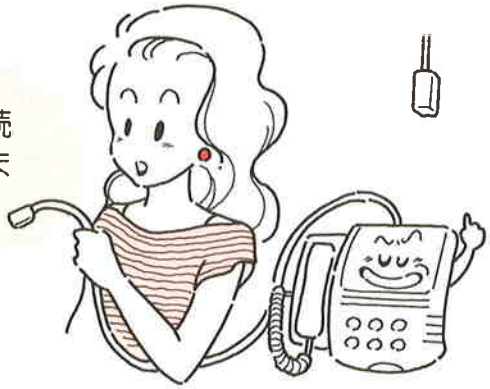
下記のことを確認して販売店にご相談ください。

1．主装置の電源プラグがコンセントから抜けていませんか？



2．電話機のコードが抜けていませんか？

3．ローゼットから接続コードが抜けていませんか？



4．操作は正しく行われましたか？

一般電話機で使える機能

	機能名	操作手順	備考
電話をかける・受ける	外線発信	（内線発信状態から）→ [0] →（外線番号） （内線発信状態から）→ [8] →（外線ボタンの番号）→（外線番号） （外線発信状態から）→（外線番号）	
	システム 短縮ダイヤル	（内線発信状態から）→ [0] → [＊] →（短縮番号） （外線発信状態から）→ [＊] →（短縮番号）	PB信号が発信できる電話機のみ
	内線発信	（内線発信状態から）→（内線番号） （外線発信状態から）→（フッキング）→（内線番号）	
	内線代表	（内線発信状態から）→（内線番号の頭1桁）→ [＊] （外線発信状態から）→（フッキング）→（内線番号の頭1桁）→ [＊]	PB信号が発信できる電話機のみ
	内線 ステップコール	（話し中・呼出中）→ [#]	PB信号が発信できる電話機のみ
	任意外線応答	（内線発信状態で）→ [8] →（外線ボタンの番号）	
話し中・応答がない	内線音声呼出	（内線呼出中に）→ [1]	
	グループ一斉呼出	呼出：（内線発信状態で）→ [7] →（グループ番号） 応答：（内線発信状態で）→ [7] → [＊]	データ設定
	話中呼出	呼出：（話中音）→ [3]	
	メッセージウェイト	（話中音・呼出音）→ [2] →（受話器を置く）	
保留・転送	保留	（通話中に）→（フッキング）・・・再び話すとき（フッキング）	外線を保留するにはデータ設定が必要です。
	パーク保留	保留：（外線と通話中に）→（フッキング）→（保留番号）→（受話器を置く） 応答：（内線発信状態で）→（同じ保留番号）	
	簡易転送	（通話中に）→（フッキング）→（声をかける）	
	保留転送	（通話中に）→（フッキング）→（内線番号）→（相手応答）→（受話器を置く）	
	外線転送	（外線と通話中に）→（フッキング）→ [0] →（外線番号）→（相手応答）→（受話器を置く）	
その他	会議通話	（内線着信音）→（受話器をとる）	
	ドアホン	応答：（内線発信状態で）→ [9] [0] 呼出：（内線発信状態で）→ [9] [1] または [9] [2]	オプション
	構内放送	（内線発信状態で）→ [9] [3]	オプション
	フッキング送出	（外線と通話中に）→（フッキング）	データ設定